

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	平成21年度 第1回 川西市文化財審議委員会		
事 務 局 (担 当 課)	教育振興部 社会教育室 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成22年3月17日(水) 10時30分～12時00分		
開 催 場 所	川西市文化財資料館 講座室		
出 者	委 員	多淵委員長、西岡委員、福永委員 計3名	
	そ の 他		
	事 務 局	谷社会教育室長、岡野社会教育室主幹、 山田社会教育室主事、望月文化財資料館嘱託 計4名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	報 告 (1) 加茂遺跡保存協議報告 (2) 多田神社発掘調査成果報告		
会議結果	別紙のとおり		

審 議 経 過

No. 1

委員長	事務局より報告を
事務局	<p>まず、報告1については、市長との懇談など審議委員会のお力添えで、加茂遺跡の保存を進めることができたので、お礼を申し上げたい。</p> <p>昨年より精力的に開発事業者と協議を進め、文化庁・県教育委員会の指導もあり、保存目的で東斜面地を購入することができた。宅地造成を行う予定で、伐採工事が進んでいたが、それを止めて保存した。買入れ価格は、土地価格と開発を止めた関係からそれまで要した費用も含んでいる。現在土地開発公社の土地であるが、平成22年度国史跡指定をする予定で、今後、活用・顕彰をどうするか長期に及ぶ課題がある。</p>
委員長	<p>厳しい市の財政の中で、しかも崖裾の川縁まで買入れてきてよかった。あとは加茂遺跡の保存の拠点として、今後の活用が望まれる。</p>
A委員	<p>努力され保存できて感謝している。加茂遺跡は、全国的にも貴重で高校の教科書にも載せられている。文化庁主任調査官にも会う機会があったが、「このあとどうするか早急に検討すべき貴重な遺跡であり、計画は早く公表して、また公表するまでいかなくても市の内部でオーソライズする形で話を持って来ていただきたい」とおっしゃった。この点ご留意いただきたい。私も各地の遺跡保存に携わっているが、すぐに整備計画が立ち上がらなくても、どのようにするのかを相談する委員会のようなものでも立ち上げて、息の長い議論する保存構想委員会を設けるべきである。</p>
委員長	<p>大事な提言である。今の話で市で具体的に考えていないのか。</p>

審 議 経 過

No. 2

事務局	<p>県の文化財室でも同様な指導を受けた。現在市の状況では財政状況が厳しく、保存構想も教育委員会内部では検討しているが、市全体では行財政改革がメインとなっており採択されていない。よいご意見があれば指導していただきたい。</p>
委員長	<p>そうであるなら、新しい委員会を別に立ち上げるのは難しいので、文化財審議委員会の下で審議委員何人かと事務局で構成するような専門委員会ならば可能ではないか。大至急考えていただきたい。</p>
A委員	<p>大変厳しい事情はよくわかるが、私もこの委員会で何回も申し上げていることである。腑に落ちないのは、構想を作るとすぐそれを実現しないといけないと思われているのではないか。将来的に財政的に好転した時に実現できるような構想でよい。基本的な計画が立ち上がらないのに、国の補助金で土地の買い上げが先行しているのでは、国に愛想を尽かされるのではないか。市制記念などで行う方法もあるが、近々ないのか。</p>
事務局	<p>50周年があったので、次は60周年がある。</p>
A委員	<p>いろんな機会をとらえて、行うのがよい。近辺では芦屋市が市制記念で会下山遺跡を国史跡指定とする計画がある。審議委員よりこのような強い意見があったということをして是非市の上層部に伝えていただきたい。</p>
委員長	<p>検討を始めているという思いが大事である。将来的に指定が進めば、斜面環濠の活用・整備などができればよい。今すぐでなくてもよいので、このように考えているということをも市民に知っていただかなければならないし、文化庁などにもアピールしていかねばならないと思う。次回の審議委員会ま</p>

<p>事務局</p>	<p>で委員会の専門部会という格好でよいので、立ち上げる方向でぜひお願いしたい。</p> <p>今年度の土地買い入れでは、検討委員会や全体計画がない状態ではあったものの、文化庁・県教委との協議上なんとか指定予定地を6.2ヘクタールまで拡大できた。今後、環濠入口部分の指定についての協議や、今ご意見をいただいた将来的な構想や、斜面地部分も崩落防止工事や活用も考えねばならない。</p>
<p>A委員</p>	<p>委員長のいわれた文化財審議委員会の専門部会を立ち上げて意見具申し、将来構想といえば大層なものであるが、暫定的な活用方法も提案し、それをもとに市の内部で検討できないか。環濠入口部分の保存も苦心されているのはよくわかるが、この遺跡がどういうものなのか、市がどういう保存方針を望んでいるのが見えなければ、地権者も協力できないのではないか。文化庁の保存活用事業補助金により、たとえば私どもが関わってきた勝福寺古墳や加茂遺跡も含め200万円ほどのプロジェクト事業で保存構想を進められないか。その一方で、地権者との協議を進めねば、市の都合で協力依頼をしているように受け取られかねないので、注意を要する。</p>
<p>事務局</p>	<p>重要なお意見ありがとうございます。勝福寺古墳については、現在修復が大きな課題となっている。また、最近南隣接地の寄付があった。</p>
<p>委員長</p>	<p>保存構想は、国の補助金をいただく条件でもある。文化財審議委員の部会でもかまわないので、そこで具体的な将来的構想を議論・提案するということで、審議委員会からの案件とした進めていただきたい。</p>

審 議 経 過

No. 4

<p>委員長</p>	<p>次に議題2の多田神社発掘調査成果の報告をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>昨年の審議委員会でも報告したが、平成20～22年度の継続事業で多田神社重要文化財防災施設整備を進めている。内容は、貯水槽・放水銃・屋外消火栓等の設置であるが、現地在が国史跡であるので、現状変更許可が必要なため発掘を行った。今年度は本殿・拝殿周辺の調査で、鎌倉・室町・安土桃山時代の伽藍遺構が検出されている。2月11日には現地説明会を行い、雨天であったが111名の参加があった。 〈スライドにより調査成果を報告〉</p>
<p>A委員</p>	<p>伽藍の時期を知るのに、焼土面での熱残留磁気の測定が有効ではないか。そのような検討は行ったか。</p>
<p>事務局</p>	<p>行っていない。</p>
<p>A委員</p>	<p>いくつもの焼土面があるので、分析を行うべきである。出土土器による判断はどうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>安土桃山時代の瓦は遺構に伴って出土したが、それ以外は時期判定上よい状態で遺物は出土していない。</p>
<p>A委員</p>	<p>それであるなら、なおさら熱残留磁気測定が有効ではないか。私の大学でも行ったことがあるが、低予算で行うことができた。機会があれば、紹介するので是非行っていただきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>多田院では伽藍を大事に取り扱っているので、火災があればすぐに整地を行い再建している。廃寺のようにそのまま残ることはないので、いくつもの整地層があり、時期判定が難</p>

審 議 経 過

No. 5

事務局	<p>しいのではないか。熱残留磁気測定はぜひ検討していただきたい。</p> <p>建物遺構が近すぎるという報告があったが、金堂に対して常行堂・法花堂は近接していてもよい。鶴林寺のように江戸時代の絵図では回廊でつながっている場合もある。また築地塀は門のようなものを構えた時期があるのではないか。荒木村重の戦乱火災と寛文再興の間がよくわからないのではないか。</p> <p>西宮神社・勝尾寺など豊臣秀頼の再建記録があり、多田院も含まれている。多田神社の境内は広く、多田院の遺構はまだよくわからない。満仲の館跡などどこにあるか課題がある。</p>
委員長	<p>今後学術調査を検討してもよいのではないか。県指定の防災工事はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>神社は希望しているので、国庫補助事業後予定されている。</p>